



# 2020年度 第1四半期決算説明会

対象期間: 2020.4.1-6.30

2020.8.12

明治ホールディングス株式会社

# 2020年度 第1四半期連結決算のハイライト



(億円)	19年度 1Q実績	20年度 1Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
売上高	2,989	2,811	△5.9% △177	22.4%	12,530
営業利益	206	231	+12.2% +25	21.1%	1,100
営業利益率	6.9%	8.2%	+1.3pt	—	8.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	145	133	△7.8% △11	19.2%	695
EPS	99.98円	92.17円	△7.81円	—	479.08円

## ● 1Q実績：減収増益

- ・ 売上高は食品、医薬品ともに減収
- ・ 営業利益は医薬品は減益(赤字)だが、食品が大幅増益となり全体で増益
- ・ 四半期純利益は貸倒引当金の特損計上により減益

<p>プラス要素</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ヨーグルトやプロバイオ(R-1)は健康意識の高まりにより好調に推移</li><li>● 市販用の乳製品(「明治おいしい牛乳」、チーズ、バターなど)は巣ごもり需要により増収</li><li>● スポーツプロテイン「ザバス」は外出自粛要請明けから、運動不足解消ニーズ拡大のため大幅伸長</li></ul>
<p>マイナス要素</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 業務用商品は徐々に回復しているものの外出自粛影響により大幅な減収</li><li>● チョコレートはCVS来店客数の減少やオフィス需要の減少により減収</li><li>● 国内医療用医薬品(ヒト用ワクチン除く)は外来受診患者数の減少により大幅な減収</li></ul>

	売上高前年同月増減率			補足
	4月	5月	6月	
発酵 デ일리	+5.8%	+0.2%	+1.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヨーグルト、プロバイオは好調</li> <li>• 牛乳類は「明治おいしい牛乳」は好調だが、「明治牛乳」など不採算商品の終売により全体は前年割れ</li> <li>• 「ザバスミルクプロテイン」は外出自粛要請明けの6月より伸長</li> </ul>
加工食品	△6.6%	△9.7%	+5.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チーズ、アイスは市販用好調も業務用がマイナス</li> <li>• 業務用商品は大幅前年割れ、6月からは回復傾向</li> </ul>
菓子	△14.6%	△7.7%	△10.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チョコレートは前年割れだが、健康志向チョコレートは5月以降前年超過</li> <li>• グミ、ガムは大幅前年割れ</li> </ul>
栄養	△6.9%	△8.3%	+16.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 栄養食品は乳幼児ミルク、流動食ともに堅調な動き</li> <li>• スポーツアミノ酸「ヴァーム」が不調</li> <li>• スポーツプロテイン「ザバス」は5月から前年を超過し6月の外出自粛要請明けに大幅伸長</li> </ul>

	売上高前年同月増減率			補足
	4月	5月	6月	
先発品 (除くヒト用ワクチン)	△26.1%	△37.9%	△40.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬価改定と外出自粛による受診患者数の減少により大幅減収</li> <li>抗うつ薬「リフレックス」は薬価制度改革により新薬創出加算がなくなり大幅な減収</li> </ul>
ジェネリック 医薬品	△15.3%	△30.3%	△32.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬価改定と外出自粛による受診患者数の減少により大幅減収</li> <li>不要不急の手術を控える動きもあり全身性抗菌薬なども減収</li> </ul>
ヒト用ワクチン	—	+771.3%	+209.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>大幅増収(前年4月から販売移管されたものの本格出荷が6月以降だった)</li> </ul>

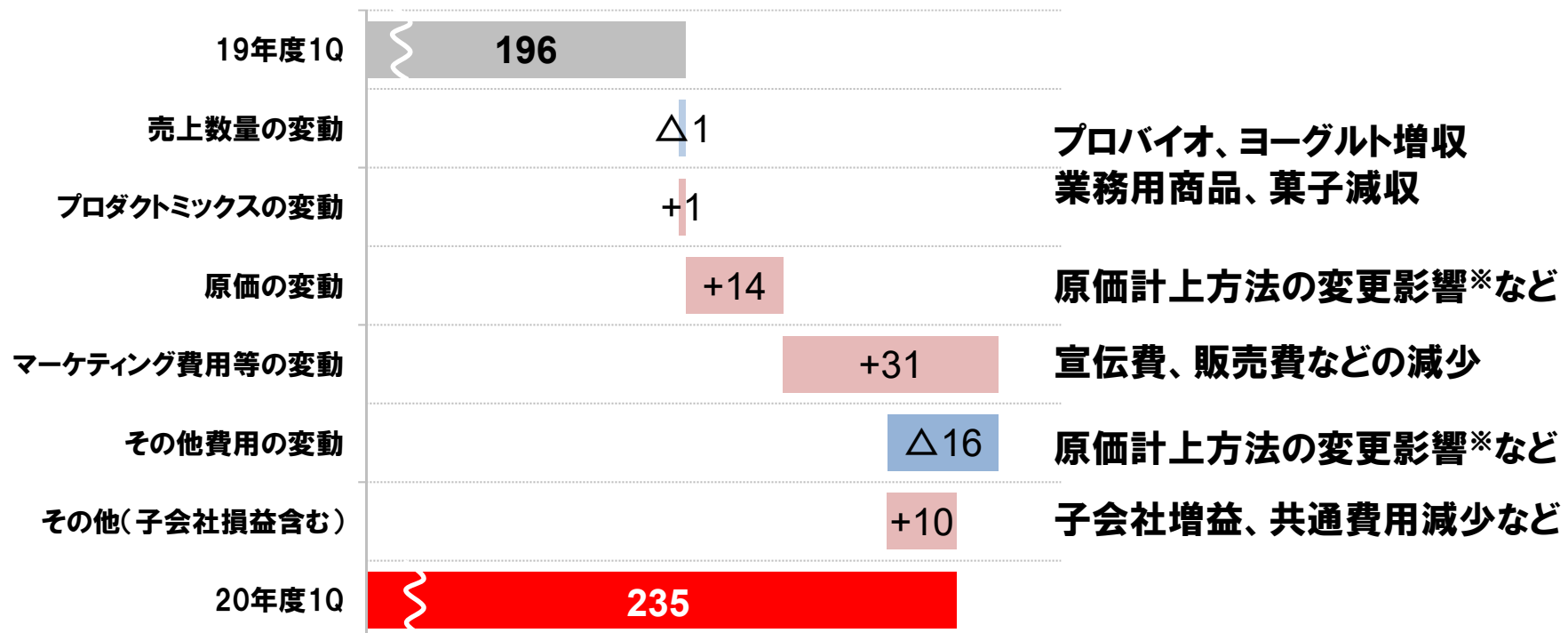
		1Q売上高 前年同期増減率 (現地通貨ベース)	補足
食品	中国	牛乳・ヨーグルト△13.6% 菓子△19.7% アイスクリーム+21.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳・ヨーグルト:市販用の牛乳が好調に推移したが、業務用は大幅な減収。4月以降業務用は徐々に回復する見込み</li> <li>菓子:小売業における販促機会の減少が影響。EC経路は好調だが、婚礼市場が不調</li> <li>アイスクリーム:巣ごもり需要によりマルチパックが大幅増収</li> </ul>
	アメリカ	+12.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビスケットが好調に推移、明治ブランド品も前年を上回る</li> <li>4月以降は外出制限や入店制限、店舗閉鎖などの影響が発生する見込み</li> </ul>
医薬品	インド	△5.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロックダウンの製造への影響は限定的だったものの、海外向けの出荷に遅れが発生し減収、徐々に回復する見込み</li> </ul>
	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>スペイン:抗菌薬「メイアクト」等が引き続き好調</li> <li>インドネシア、タイ:安定供給に向け日本向けの抗菌薬の出荷拡大、現地販売も好調</li> </ul>

# 営業利益増減分析の構成項目の変更点

変更前		変更後		
開示項目	構成項目	開示項目	構成項目	
売上増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 数量差異</li> <li>● 売上単価差異</li> <li>● 商品構成</li> <li>● 販売費・物流費 (数量スライド)</li> <li>● 製造間接費</li> </ul>	売上増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 数量差異</li> <li>● 売上単価差異</li> <li>● 商品構成</li> <li>● 原価差額(医薬品のみに)</li> </ul>	売上数量の変動※ プロダクトミックスの変動※
薬価改定の影響		薬価改定の影響		
原価の変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直接費単価差異 ほか</li> <li>● 原価差額(医薬品のみに)</li> </ul>	原価の変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直接費単価差異 ほか</li> </ul>	マーケティング費用等の変動
経費等の増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変動販売費(除く数量スライド)</li> <li>● 宣伝費・普及費</li> <li>● 販売間接費</li> <li>● 物流費(除く数量スライド)</li> <li>● 研究開発費</li> <li>● 一般管理費 ほか</li> </ul>	経費等の増減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 販売費・物流費 (数量スライド)</li> <li>● 変動販売費(除く数量スライド)</li> <li>● 宣伝費・普及費</li> <li>● 販売間接費</li> <li>● 物流費(除く数量スライド)</li> <li>● 製造間接費</li> <li>● 研究開発費</li> <li>● 一般管理費 ほか</li> </ul>	
その他(子会社損益含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子会社損益</li> <li>● 連結仕訳</li> </ul>	その他(子会社損益含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子会社損益</li> <li>● 連結仕訳</li> </ul>	その他費用の変動(内、研究開発費)

(億円)	19年度 1Q実績	20年度 1Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
売上高	2,590	2,444	△5.7% △146	23.5%	10,414
営業利益	196	235	+19.6% +38	25.3%	930

## 営業利益増減分析 (億円)

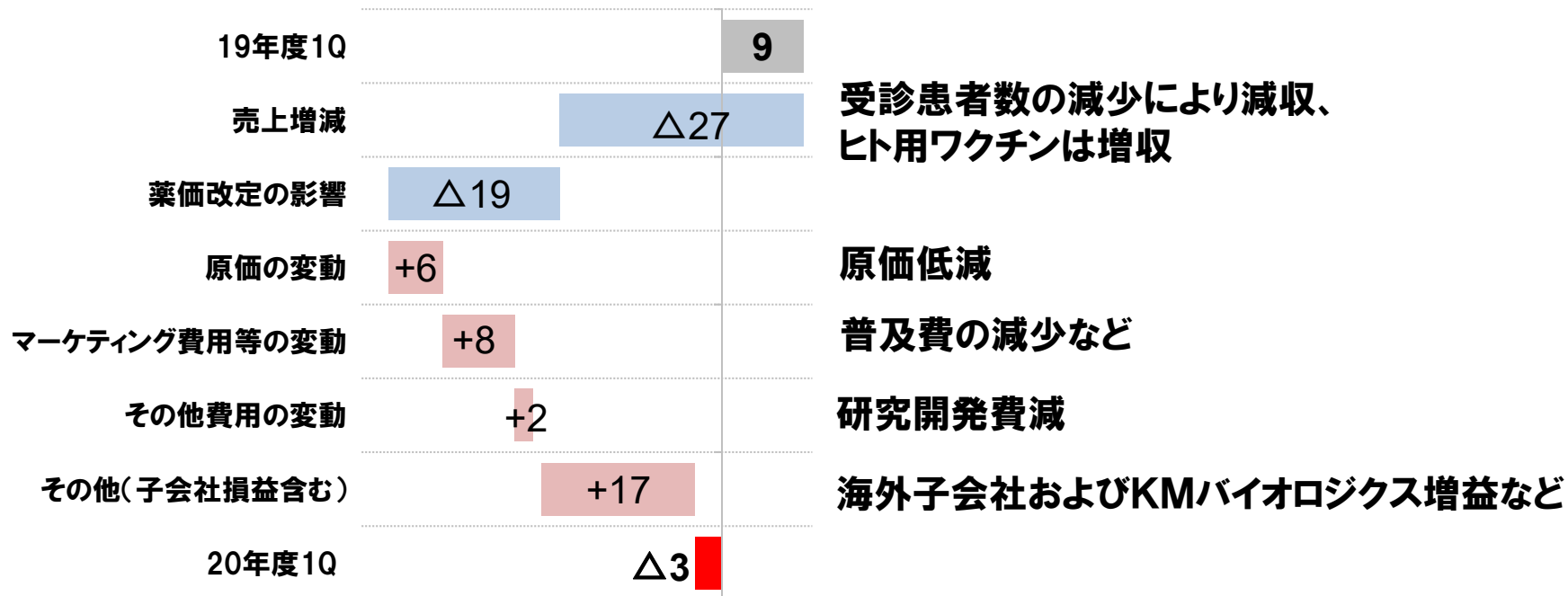




(億円)	食品全体	発酵 デイリー	加工食品	菓子	栄養	海外	その他 国内 子会社	全社 共通費
19年度1Q営業利益	196	104	18	40	41	2	8	△20
売上増減	△0	+21	△4	△18	+0	+0	—	+0
売上数量の変動	△1	+19	△5	△17	+1	+1	—	+0
プロダクトミックスの 変動	+1	+3	+1	△1	△1	△1	—	+0
前年増減額 原価の変動	+14	+4	+2	+6	+3	+0	—	△1
経費等の増減	+15	+27	+2	△3	△5	△1	—	△5
マーケティング費用等 の変動	+31	+21	+5	+6	+2	△1	—	△3
その他費用の変動 (内、研究開発費)	△16 (△0)	+5	△3	△9	△7	△0	—	△3
その他 (子会社損益など)	+10	+5	+1	△3	△1	+2	△1	+7
前年増減計	+38	+58	+1	△18	△2	+1	△1	△0
20年度1Q営業利益	235	162	19	23	39	2	7	△20

(億円)	19年度 1Q実績	20年度 1Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
売上高	400	371	△7.3% △29	17.5%	2,123
営業利益	9	△3	— △13	—	180

### 営業利益増減分析 (億円)



## ● 環境認識

- 新型コロナウイルス感染症の影響は長期化
- 2020年度を通じて国内外でウイズコロナの厳しい経済環境が継続

## ● 経営の考え方

- 効率的なマーケティング活動および需要喚起対策の実施
- コストコントロールの徹底
- キャッシュフローに応じた柔軟な投資判断の実施

**参考資料**

# 2020年度 第1四半期連結財政状態



(億円)	20年6月末 実績	前期末比	主な内容
流動資産	4,516	+8.3% +348	・現金及び預金(+386) ・商品及び製品(+53) ・原材料及び貯蔵品(+31) ・受取手形及び売掛金(△149)
固定資産	5,861	+0.7% +40	・投資有価証券(+42)
資産合計	10,377	+3.9% +388	—
流動負債	2,927	+14.1% +362	・コマーシャル・ペーパー(+500) ・支払手形及び買掛金(△83) ・未払費用(△59)
固定負債	1,460	+0.9% +12	・長期借入金(+10)
負債合計	4,388	+9.4% +375	—
株主資本	5,555	+0.3% +18	・利益剰余金(+16)
その他の包括利益 累計額	92	+2.2% +1	・その他有価証券評価差額金(+29) ・為替換算調整勘定(△33)
非支配株主持分	341	△2.0% △6	—
純資産合計	5,989	+0.2% +13	—
有利子負債	1,650	+54.6% +583	・コマーシャル・ペーパー(+500)
自己資本比率	54.4%	△1.9pt	—

# 2020年度 第1四半期連結CF



(億円)	20年度 1Q実績	前年同期比	主な内容
営業キャッシュフロー	119	+85	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人税等の支払額(+83)</li> <li>・売上債権の減少(+58)</li> <li>・たな卸資産の増加(△46)</li> <li>・仕入債務の減少(△17)</li> </ul>
投資キャッシュフロー	△184	△22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の取得による支出(△19)</li> <li>・投資有価証券の取得による支出(△19)</li> <li>・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(+21)</li> </ul>
フリーキャッシュフロー	△64	+63	—

(億円)	19年度 1Q実績	20年度 1Q実績	20年度		20年度 通期計画
			前年同期 増減率	通期計画 進捗率	
ヨーグルト	217	225	+3.7%	25.6%	879
明治ブルガリアヨーグルト	198	206	+4.4%	26.0%	797
プロバイオティクスヨーグルト	258	303	+17.6%	25.9%	1,175
牛乳類	281	270	△4.1%	25.9%	1,044
明治おいしい牛乳	143	158	+10.2%	26.8%	589
チーズ	92	92	+0.4%	23.7%	390
明治北海道十勝チーズ	35	37	+5.8%	23.3%	161
アイスクリーム	121	120	△1.0%	25.4%	473
チョコレート	199	192	△3.4%	19.3%	1,000
栄養食品	143	147	+2.9%	24.4%	605
スポーツ栄養	55	57	+3.3%	27.7%	206

(億円)	19年度 1Q実績	20年度 1Q実績	前年同期 増減率	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
国内医療用医薬品(Meiji Seika ファルマ単体実績)					
シクレスト	10	8	△13.3%	17.2%	52
ピラノア	9	8	△12.4%	8.2%	106
リフレックス(GE含む)	22	14	△32.7%	22.6%	66
メイアクト(GE含む)	13	4	△66.9%	8.7%	52
タゾピペ	17	11	△30.1%	14.9%	80
ヒト用ワクチン計	5	41	+597.4%	13.6%	302
インフルエンザHAワクチン	△0	△0	—	—	151
KMバイオロジクス(単体実績)					
ヒト用ワクチン計	18	25	+40.6%	8.2%	310
血漿分画製剤計	10	18	+82.4%	24.2%	76



# 2020年度 通期連結見通し



(億円)	19年度 実績	20年度 計画	前年同期比
売上高	12,527	12,530	+0.0% +2
営業利益	1,027	1,100	+7.1% +72
営業利益率	8.2%	8.8%	+0.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	673	695	+3.2% +21
EPS	464.08円	479.08円	+15.00円
1株当たり配当金	150円	150円	—
配当性向	32.3%	31.3%	Δ1.0pt
ROE	12.4%	12.0%	Δ0.4pt
設備投資額	711	852	+19.9% +141
営業CF	1,141	1,209	+67
フリーCF	432	12	Δ420

## ● 連結見通し：修正なし

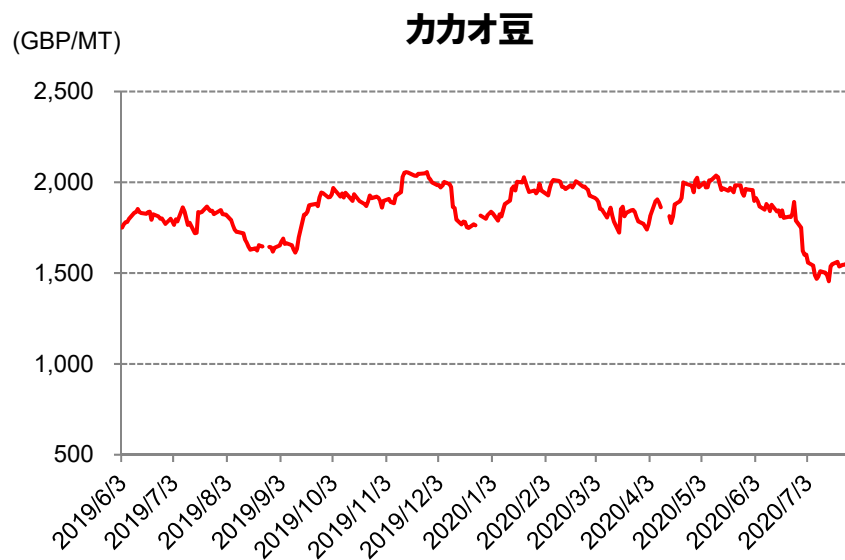
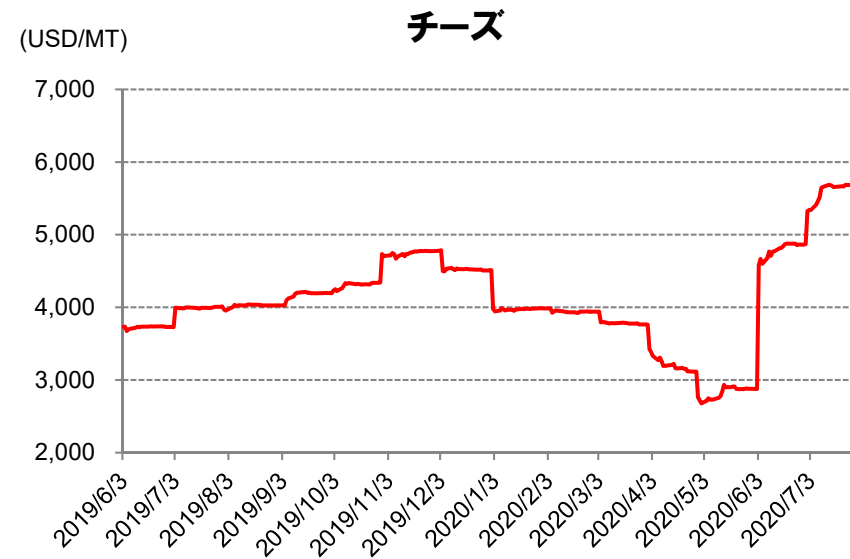
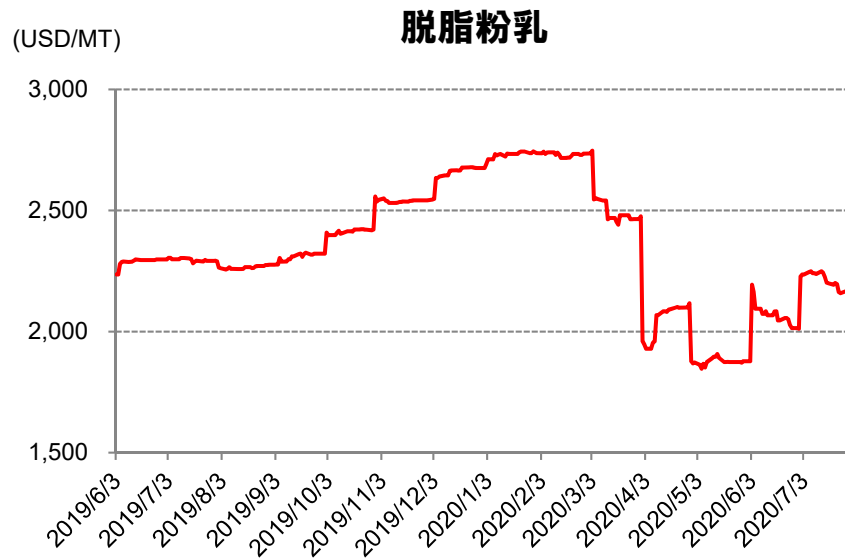
# 2020年度 連結営業利益増減分析(8/12構成項目変更)



(億円)	連結	食品	医薬品	他
19年度実績	1,027	873	159	△6
売上増減	+73	+56	+17	—
薬価改定	△59	—	△59	—
原価の変動	+71 <sup>(*1)</sup>	+52	+19	—
経費等の増減	△50 <sup>(*2)</sup>	△64	+14	—
その他(子会社損益含む)	+38	+13	+30	△4
20年度計画	1,100	930	180	△10

- \*1: 主な内訳...【食品】原価計上方法変更+63、原材料調達コスト△20、その他(商品政策・効率化など)+9  
 【医薬品】原価低減+19
- \*2: 主な内訳...【食品】原価計上方法変更△63、その他費用の変動△34、マーケティング費用等の変動+33  
 【医薬品】研究開発費+7、その他+7

# 主要輸入原料相場の動向



# meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。